



越谷市議会議員
福田 あきら
 活動報告レポート『GET GOAL!』 No.7 2013年新春号
 〒343-0046 越谷市弥栄町4-1-120
 TEL/FAX 048-978-3335
 Mail info@akira-fukuda.com HP <http://akira-fukuda.com>

GET GOAL
 FUKUDA !!

※本活動報告レポートは、福田あきら自身が構成(文書/デザイン)をすべて担当しており、印刷部分だけをインターネット専門業者に依頼することにより、最小限の費用にて作成しています。

命を守るサービスの拡充へ

12月議会・主な議案から①

職員定数条例変更へ

職員定数条例の一部を改正する条例制定について「中核市移行に向けた準備に伴い職員を確保し研修を行う」とともに、「市立病院/消防本部等の業務体制の充実により、さらなる市民サービスの向上を図る」ため、職員定数を変更するという議案が提出されました。

- (1)市長部局の職員の定数
 改正前:2,169人 → 改正後:2,248人(+79人)
 うち越谷市立病院に勤務することとなる職員の定数
 改正前:576人 → 改正後:606人(+30人)
- (2)消防本部の職員の定数
 改正前:301人 → 改正後:310人(+9人)

本議案には、「少子高齢化社会を迎え、財政状況が厳しいなかで、職員定数の増加には反対であり、現状の定数内で乗り切るべきだ」という意見も他の会派からありました。

【私の立場】
 右記の4つの観点からみて、定数の増加には合理的な理由があり、また高齢化社会に対して行政はしっかりと対応し、安心したサービスを提供することが必要であると考え賛成をしました。

尚本議案は賛成多数で可決されました。

※私は会派を代表して賛成討論をさせて頂きました。



4つの観点(主に私の賛成討論から抜粋)

①中核市移行における職員の確保
 第4次総合振興計画にある、平成27年4月の移行に向けては、着実に準備を行う必要がある。中核市移行に伴って移譲される事務は、保健所業務をはじめ、産業廃棄物関係や福祉法人の定款認可等、専門性の高い業務が中心となり、県からの事務移譲を円滑に行い、移譲後も行政サービスの水準を維持・向上していくためには、中核市移行前から職員研修等による人材育成に取り組むことが必要不可欠であると考えます。

②消防本部職員の確保
 現在越谷市が保有している7台の救急車の稼働状況を確認すると、市民からの要望に十分対応しているとは言えず、台数に余裕がないことが認識できる。総務省の『消防力の整備指針』における計算上の人口33万人における望ましい救急車の数は8台であり、その点から考えても、救急車の確保、救急部隊の増員は必要であり、『市民の命を守る』という一番重要な局面において、救急隊が、なかなか到着しないという状況をさけるためにも、職員の確保は必要と考える。

③市立病院の職員の確保
 医師や専門職などの増員は、医療サービスの拡充や診療報酬増による将来的な収益が期待できる。また閉鎖されていた8-1病棟の再開への足掛かりになることもあり、一定の評価ができる。と考える。

④景気の低迷や超高齢社会に対応するための職員の確保
 高齢化の進行や、リーマンショック以降の景気の低迷等により、障がい者福祉や介護サービス等の受給者や生活保護の受給者が急増している。一層の業務改善などの取り組み、効率的な職員配置を行うことを前提に、対人的な行政サービスの遂行には、しっかりと職員確保し、市民サービスの低下を招かないことが重要と考える。
 ※高齢化社会の進行によって民生費が右肩上がりに膨らんでいく。より一層の「事業の選択と集中」の必要性を、行政そして議員は強く再認識しなければならない。

『福田あきら』ただいま情報発信中

ほぼ毎日更新中!

①ホームページ <http://akira-fukuda.com>



②ブログ(日記)
<http://blog.akira-fukuda.com>
 →越谷市議会議員としての日々の活動を日記形式にて公開中



③facebook(フェイスブック)コミュニティ
<http://www.facebook.com/> 左記より福田あきらを検索! 友達の申請をお願いします。より身近な活動を情報発信しています。



福田 あきら(37歳) プロフィール

【所属会派】	民主党・ネット・無所属の会	【常任委員会】	教育・環境経済常任委員会
【特別委員会】	公共交通網整備推進特別委員会	【その他役割】	越谷・松伏水道企業団議会議員

1975年	越谷市に生まれる(昭和50年5月28日生まれ)	●資格	基本情報技術者/宅地建物取引主任者等
1982年	清浄院幼稚園卒園	●家族	妻と長男
1988年	越谷市立桜井南小学校卒業	●サッカー選手としての経歴	越谷フットボールクラブ(小学校1年~6年/社会人)
1991年	越谷市立越谷北中学校卒業		水戸ホーリーホック[現リーグ2部]
1994年	埼玉県立越谷北高等学校理数科卒業		全国社会人サッカー選手権大会優勝
1998年	法政大学法学部法律学科卒業		福島/広島国民体育大会(国体)サッカー優勝
2000年	現:伊藤忠テクノソリューションズ(株) 入社 ⇒IT企業のサラリーマンとして10年勤務		など三度の日本一を経験
2011年	越谷市議会選挙に挑戦し当選		現在、越谷市サッカー協会副会長を拝命

★電話による市民相談窓口 048-978-3335

基本:平日10:00~18:00 大変恐縮ですが、番号通知(表示)がある方へのみの対応となります。もし留守電の場合は要件を録音願います。確認後、折り返し連絡させていただきます。

12月議会・主な議案から②

本庁舎整備審議会条例制定へ

越谷市本庁舎整備審議会条例制定について
本庁舎の整備に関し必要な事項を調査審議するため、市長の附属機関として、越谷市本庁舎整備審議会を設置するもの。(附則において、越谷市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正)

本議案は9月定例議会、「(補正予算の)仮称第3庁舎建設における基本設計委託料、2,000万円」の議案において「本庁舎の耐震化についてはどうするのか?」という議員の質問に、市長が「本庁舎の耐震化(建て替え)については、早急に検討委員会を立ち上げる」との答弁があり、それにそった議案です。本件については他の会派から修正案が提出されました。修正案ポイントは次の2点となっております。尚 本議案につきましては、修正案は否決され、原案が賛成多数で可決されました。

修正案ポイント(1)

この本庁舎整備審議会条例制定については、市長の付属機関として位置づけられており、そもそも二元代表制の観点からして議員が本審議会のメンバーになることは望ましくない。また過去の代表者会議において、市長の付属機関としての審議会には議員は入らない方針を決定しており、これを尊重すべき。よってこの度、**審議会のメンバー構成員として位置づけられている議員を外すべき。**

【私の立場】

本来、議員が市長の付属機関のメンバーになることは決して良い方向性ではないと考えますが、この度の議案については、下記3点について、一定の整理をしております。その理由から**修正案に反対し、原案に賛成しました。**

- ①議員は、議場の利用者(ユーザ)という立場があり、当初から積極的に意見を述べることに合理性がある。
- ②「本庁舎の建設」は、大事業であり、議員の審議会入りについては、その多角的な知見が求められるという意義において、参加することに一定の合理性がある。また「例外的なメンバー構成であり今後の先例としない」ということが明確に市長から答弁があったこと。
- ③「審議会の決定は議会の決定とはしない。」という市長答弁があったこと。(権限の線引き)



議員が使用者(ユーザー)となる議場

修正案ポイント(2)

審議会では、本庁舎だけではなく第2庁舎、(仮称)第3庁舎も含めて調査審議対象とし、全体のグランドデザインを描くべき。よって**調査の対象を「本庁舎」⇒「庁舎」とすべき。**

【私の立場】

第3庁舎(第2庁舎は既存)は、中核市移行に伴う職員の増加等に備え事務スペースを中心に建設することが決定しており、平成27年4月の中核市移行へのスケジュールは順守し対応すべきと考えます。その中では、本庁舎の大きさなどを決める基準として、第3庁舎を参考にすることは、当然として考慮すべきだと思います。第3庁舎を含めた全庁舎のグランドデザインを見直すという意見には時間的な制限がなければ賛成したいところですが、上記観点から修正案に反対しました。(原案賛成)



新本庁舎建設の際には、大切なデータを守るコンピュータールームのあり方も考える必要がある。

2013年度予算要望書提出

主な予算要望および提言

- ・予算編成過程においてパブリックコメントを実施すること
- ・超高齢社会の財政対策として敬老祝い金などの支給内容を再検討すること
- ・自治会加入の促進を図ること、および自主防災の組織化を広げること
- ・障がい者の日中の活動場所について整備を図ること
- ・保育所、保育園等の空白地域解消のため民間と協力していくこと
- ・集团的いちご農園や都市農業に若者が参加できるしくみ作りを図ること
- ・総合治水マスタープランを早急に策定し長期対応を図ること
- ・都市基盤の長期延命化の早期促進により都市の安全安心の強化を図ること
- ・交通不便地域の解消に向けた多様な方策の研究を図ること
- ・地域包括ケアシステムの構築に向けて、医療と介護の他職種連携を深めるための具体的なシステム化を図ること
- ・いじめ・不登校などに対する支援体制を充実する観点から、中学校へのスクールソーシャルワーカー配置などの拡充を図ること



高橋市長に会派で要望書を提出

常に現場主義! 「見る・聞く・考える・行動する」



公共交通整備推進特別委員会行政調査
2012年10月23日
デマンドバスの調査(埼玉県北本市)



教育・環境経済常任委員会行政調査
2012年11月6日～8日
スポーツ振興の調査(山口県下関市)
小中一貫教育の調査(広島県呉市)
地産地消の取組みの調査(岡山県岡山市)



2012年11月11日
越谷市・北越谷地区合同総合防災訓練
⇒気になったことをその場で市長に提言



2012年11月21日
精神保健業務の調査(群馬県高崎市)



駅頭で常に市政の情報発信



2012年12月25日
可決議案の工事現場確認(越谷市)

福田あきらの政策工程表

越谷市議会議員 福田あきら 政策実施のに向けた工程表(2012年12月31日時点)

政策	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	ゴール	進捗
【政策1】地域に根ざしたまちづくり						
① 地元産業		予要	予要	予要	都市型農業の進展	地域ブランド等の推進
・越谷の特徴を活かした産業モデルの創出		質9 質12				
・若手経営者の育成・支援モデルの強化		質9	予要		都市型農業への若手参入モデルの促進	平成24年度予算要望実施
② 防災(災害対策)		質6	質12	質6	調査(一般質問等)とその改善の実施	新本庁舎建設における提言を実施していく
・IT(システム)からみた越谷市の防災体制のチェックと改善		予要			ご年配の方のスポーツ促進・(特にクラフトゴルフ)	今後
③ 地域医療		予要				
・予防医療の推進						県事業:水辺再生プランを調査
④ 自然環境		調3				
・河川の美化、公園等の芝生化など						
⑤ イベント		質9 質12	予要	決9	イベントへの参加と問題点の改善	公共交通網整備推進特別委員会の設置活動中
・元気なまちづくり(地域イベントの活性化)		予要			自治会の活性化	平成24年度予算要望実施
・自治会の活性化		待3			公共交通網拡充へ前進	
・公共交通網の拡充						
【政策2】『無駄の排除』と『選択と集中』						
財務状況から傾向や問題チェックと改善		決9 予3 質6	決9		継続したチェック改善	超高齢化社会・少子化社会における財政規律の提案(質)
【政策3】教育環境、子育て環境の整備						
子育て環境の整備(待機児童問題)		調12	予要		待機児童一桁	他市の状況調査実施済み
学校図書館の拡充		調6	終		その他問題の指摘改善	達成
					越谷市独自の予算確保により一定の目的達成	
【政策4】ご年配の方へのIT活用の推進						
Cityメールの推進/パソコン・携帯電話教室の開催					Cityメール普及活動	Cityメール普及活動中
【政策5】徹底した情報発信						
行政/議会/国取組の情報をブログにて発信			516		年間250件発信	ほぼ毎日発信中
【その他】市民の皆様からのご意見募集						
その都度常に活動・常にチャレンジ					すべての案件において誠実な対応	ご相談を頂いた件対応中
【報告】議会レポート報告						
議会レポート			議会ごとにレポート作成(7月、10月、1月、4月)		16回/4年	7回
議会報告会			半年に一回開催(10月と4月予定)		8回/4年	1回

尚、政策の詳細および行程表の詳細は
HP <http://akira-fukuda.com>に記載しております。

記号説明

- 事前調査/準備作業/審議
- 実行

● 質...一般質問(数字は実施月) 調...調査実施 予...予算特別委員会 決...決算特別委員会 数字...回数を表す 特...その他特別委員会 予要...予算要望